

## ●救済のニヤレストポイントの決め方について

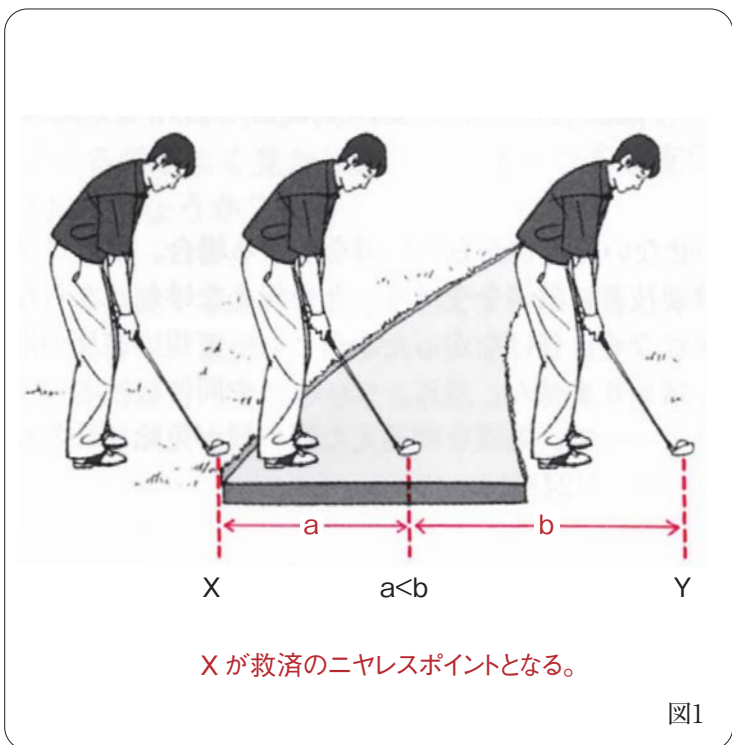
### 救済のニヤレストポイントの定義

救済のニヤレストポイントとは、動かさない障害物(規則24-2)、異常なグラウンド状態(規則25-1)、あるいは目的外のパツティングリーン(規則25-13)による障害から罰なしに救済を受ける場合の基点となる点をいう。  
 ※したがって本項では、日頃生じやすい動かさない障害物の事例についての救済のニヤレストポイントの決め方を解説する。

### 動かさない障害物からの障害が生じるとは



**Q** 動かさない障害物からの障害が生じるとはどのような状態を言うのですか？



**A** 球が動かさない障害物の中や上にあたり、球をストロークしようとした場合に動かさない障害物がそのストロークのためのスタン、意図するスイング区域の妨げとなる場合、動かさない障害物からの障害が生じることになります。

ただし、球がパツティングリーン上にある場合は、パットの線上に動かさない障害物があれば、動かさない障害物による障害が生じていることになりません。  
 障害が生じるかどうかは止まっている球に対して、もし、そのままプレーしようとしたらどのようなストロークをするかを想定してみる必要があります(R 24-2a)。

### 救済のニヤレストポイントの決め方

**Q** 救済のニヤレストポイントはどうやって決めるのですか？

**A** 救済のニヤレストポイントとは、ホールに近づかないで障害が生じている状態がなくなる最も近い所をいいます。

救済のニヤレストポイントを決めるためには、まず、止まっている球に対してどのようにストロークをするかを想定すべきで、その想定したストロークのための格好を移動させ、障害がなくなる最も近い所を決めます(図1参照)。

### 1クラブレンジスほどのクラブで計測するか

**Q** 救済のニヤレストポイントから1クラブレンジス以内にドロップする場合の1クラブレンジスほどのクラブを使用して計測するのですか？

**A** 規則でクラブレンジスを計測する場合は自分の持ち運んでいるクラブであればどのクラブを使用しても構いません(D 20/1)。また、他の競技者のクラブを借りることもできますが、自分のクラブで測った場合に得られる結果

以上の場所にドロップしたり、そのような場所からプレーした場合は誤所からのプレーとなります(D 20/2)。

### 救済を受ける場合、マークに告げる必要があるか

**Q** 動かさない障害物からの救済を受ける場合、事前にマークや同伴競技者に救済を受けることを告げなければいけないのですか？

**A** 動かさない障害物からの救済を受ける場合、事前にマークや同伴競技者に救済を受けることを伝える必要はないという規定はなく、告げなかったからといって規則違反の罰を受けることはありません。逆に、マークや同伴競技者の了承を得たからといって、処置を間違えた際の罰が免除されるわけでもありません(R 24-2b)。

### 救済を受けるために球を拾い上げるときにマークをしなければならぬか

**Q** 動かさない障害物からの救済を受けるために球を拾い上げるときに、その球の位置を前もってマークしなければならぬのですか？

### 打てないのに救済を受ける

**Q** 球が木の根の間にあり、全く打てない状況でしたが、一応、その球に対してスタンスをとってみると、足がカート道路にかかります。この場合、救済を受けることはできますか？

**A** 動かさない障害物以外の物からの障害によってストロークすることが明らかに無理な場合は動かさない障害物からの救済を受けることはできません(R 24-2b 例外)。



**A** 正しく処置するための基点としてマークすることは良い方法と言えますが、マークをしなかったからといって罰を受けることはありません。

ゴルフ規則では拾い上げた球を元の位置にリプレーする規則に基づいて球を拾い上げる場合にマークが必要となります。動かさない障害物からの処置は拾い上げた球をドロップするのでマークを必要としません(R 20-1)。

### 救済のニヤレストポイントにマークをしなければならぬか

**Q** 救済のニヤレストポイントにティーペグなどでマークをしているのをよく見かけますが、マークをしないと違反となるのでしょうか？

**A** 正しく処置するための基点としてマークすることは良い方法と言えますが、救済のニヤレストポイントにマークをしなかったことだけをもって罰が課せられることはありません(R 24-2b)。

### 救済のニヤレストポイントが打てない場所になる

**Q** カート道路からの救済を受けようとして、救済のニヤレストポイントが急な斜面で打てないような所となりました。この場合、打てる場所を探して救済のニヤレストポイントを決めて良いのですか？



### 救済を得るために必要なスタンスをとる

**Q** 止まっている球に対して普通にスタンスをとればカート道路に足がかけないのに、救済を受け

### 右打ちで打てるのに、左打ちにすると足がカート道路にかかる



るためにわざと大股でスタンスをとったり、意図しない方向にプレーすることを想定して救済を受けることはできますか？

**A** 動かさない障害物からの障害が不必要に異常なスタンスやプレーの方向をとることによって生じるような場合は、動かさない障害物からの救済を受けることはできません(R 24-2b 例外)。

### 左打ちの採用が必要で、救済を受けた後、右打ちでプレーする

**Q** スタンスをとる場所に木があり、立つことができないので、左打ちにして打つことにしました。するとスタンスがマンホールにかかるので、救済を受け、ドロップしたところ、右打ちでもプレーできる場所に球が止まりました。この場合、右打ちでプレーすることができ

ますか？

**A** 右打ちでプレーすることが無理で、左打ちにすることが合理的であれば、質問のような場合でも救済を受けることができます。救済を受けた後は新しい状況となりますので、その新しい状況に合ったストロークを行うことができ、従って、右打ちでプレーすることは認められます(R 24-2b)。

Q & Aで使用している文言は、できるかぎりゴルフ規則の文言を使用しておりますが、説明を簡単にするためにゴルフ規則の文言を言い換えているものもあります。解説を簡潔にするために「マッチプレー」以外のプレーに関するQ & Aの事例は個人競技のストロークプレーを前提とした内容となっています。(R1-2)は規則1-2を意味します。(D1-2/1)はR & A、US

